

【データヘルス計画全体の評価】

データヘルス計画全体の目的					データヘルス計画全体の評価	計画全体の主な見直しと今後の方向性
高額の医療費のかかる人工透析や生活習慣病の重症化を防ぐため、特定健康診査や特定保健指導、早期の医療機関への受診勧奨等の保健事業を実施し医療費の適正化を図る。						
データヘルス計画全体の評価指標	目標値		ベースライン (計画策定時の数値)	経年変化	判定	
	令和5年度					
一人当たり医療費(医科)	減少(数値目標の設定なし)		30,533円	H30 30,533円 H31 30,397円 R02 31,931円 R03 32,167円	C	C

【対策ごとの評価】

対策名	評価
①特定健康診査受診率の向上	A
②特定保健指導終了率の向上	B
③糖尿病重症化予防(慢性腎不全対策)	C
④精神疾患新規長期入院者を増やさない	A
⑤成人期の歯周疾患(病)検診を実施	A
⑥運動を始めるきっかけづくりの推進	E
⑦後発医薬品の使用促進	C

【目標値：新設について】
中間評価にあたり新たに評価指標・目標を新設した箇所を示しています。変更はDH計画に記載されている評価指標を変更した

【個別保健事業ごとの事業評価】

対策名	事業名・評価指標	目標値		ベースライン (計画策定時の数値)	経年変化	指標判定	事業評価	改善策
		新設	令和5年度					
① 特定健康診査受診率の向上	◆特定健康診査							
	商工会等関係者との役割分担明確化 ※商工会等関係者→商工会と保健推進委員	新設	事業の説明やポスター張り依頼を行う	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A	B	さらなる受診率向上には α の取り組みが求められるがコロナ対応によりマンパワーの不足が生じているため、福祉保健課、町民課が引き続き連携して感染症対策を徹底しながら事業の継続に取り組んでいく。 【課題】 ・40～50歳代の受診率が低迷している。 ・45歳以上の一人当たり医療費(入院)5年平均(男女)が他市町村と比較して高い。(県医療費適正化業務報告書より) ・55歳以上の一人当たり医療費(入院)5年平均(男女)が他市町村と比較して顕著に高い。(県医療費適正化業務報告書より) 【改善策】 ・広報誌で「40～50歳代男性の受診率が低迷」している点と「45歳以上の医療費が高い傾向」などについて周知を行う。 ・その他、40～50歳代男性へ受診行動につながる方法を検討する。
	委託業者との打ち合わせ回数	新設	2回	2回	H30 2回 H31 2回 R02 2回 R03 2回	A		
	実施時の町民課、福祉保健課の役割分担	新設	実施要領に明記打合せで詳細を確認する	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A		
	商工会への説明方法	新設	商工会を訪問し直接担当者へ説明を行う	適切であった	H30 適切であった H31 適切であった R02 適切であった R03 適切であった	A		
	商工会の理解度	新設	事業への理解を得る	理解を得られた	H30 理解を得られた H31 理解を得られた R02 理解を得られた R03 理解を得られた	A		
	保健推進員の説明方法	新設	保健推進員会議において直接説明を行う	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A		
	保健推進員の理解度	新設	前年度の検診結果を踏まえた状況説明を行い事業への理解を得る	理解を得られた	H30 理解を得られた H31 理解を得られた R02 理解を得られた R03 理解を得られた	A		
	健診受診セットの強制送付 (健診受診希望調査に対して意思表示がなかった方)	新設	強制送付の対象者に送付を行う	できた	H30 できた H31 できた R02 できなかった R03 できた	B		
	健診受診セットの強制送付数 (健診受診希望調査に対して意思表示がなかった方)	新設	設定せず	590	H30 590 H31 580 R02 0 R03 401	E		
	健診日時・会場設定	新設	3地区に健診会場を用意3地区に土曜日、日曜日を取り入れる	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A		
	健診結果の発送	新設	スケジュールどおり発送する	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A		
	特定健康診査受診率	変更	60%	57.8%	H30 57.8% H31 59.7% R02 53.5% R03 53.7%	C		
	身延地区受診率	新設	60%	56.4%	H30 56.4% H31 58.6% R02 51.1% R03 53.4%	C		
	中富地区受診率	新設	60%	56.4%	H30 56.4% H31 60.7% R02 54.0% R03 52.8%	C		
下部地区受診率	新設	60%	61.1%	H30 61.1% H31 60.9% R02 56.9% R03 54.9%	C			
40～50歳代男性の特定健診受診率	新設	40%	37.6%	H30 37.6% H31 41.3% R02 30.3% R03 36.3%	C			

◆かかりつけ医からの「特定健康診査情報提供同意書」の提供を働きかけ					
医師会との連携	新設	委託契約の締結	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A
医療機関への協力依頼	新設	対象者が通院している医療機関を抽出し、協力依頼文を送付する	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A
協力依頼医療機関数	新設	協力依頼文を送付した医療機関数	設定せず	H30 31機関 H31 31機関 R02 23機関 R03 26機関	E
情報提供があった医療機関の割合	新設	協力依頼文を送付した医療機関数のうち情報提供があった医療機関数の割合	上昇	H30 38% H31 38% R02 47% R03 31%	C
対象者の抽出基準	新設	明確化できたか	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A
対象者の抽出基準の追加(R2～)	新設	健診に来たが基本健診未受診者に通知を追加前年度提出者に通知を追加	(R2～) できた	R02 できた R03 できた	A
対象者への通知内容	新設	町民課と福祉保健課で検討を行う	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A
特定健康診査情報提供同意書の提供率	変更	50%	30%	H30 30.0% H31 34.0% R02 46.0% R03 42.0%	B

B

コロナ禍を受けて特定健診受診率が低下が予想されたため、R2から抽出基準の追加を行った。
R2は提供率が上昇しているため現在の取り組みの継続を行う。

② 特定保健指導終了率の向上 ◆特定保健指導					
委託業者との打ち合わせ回数	新設	3回程度	3回	H30 3回 H31 3回 R02 3回 R03 3回	A
業務連絡会の開催回数(職員間の情報共有、共通認識)	新設	2回程度	2回	H30 2回 H31 2回 R02 2回 R03 2回	A
対象者の抽出基準	新設	明確化できたか	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A
説明会出席率(出席数/通知数)	新設	90%	91.72%	H30 91.72% H31 94.83% R02 93.23% R03 -	A
夜間利用者の人数	新設	5名以上	6名	H30 6名 H31 16名 R02 18名 R03 -	A
特定保健指導実施率(初回面接動機づけ支援)		80%	93.20%	H30 93.2% H31 93.0% R02 97.6% R03 -	A
特定保健指導実施率(初回面接積極的支援)		80%	90.90%	H30 90.9% H31 92.0% R02 91.7% R03 -	A
特定保健指導終了率(動機づけ支援)		65%	83.30%	H30 83.3% H31 87.2% R02 85.5% R03 -	A
特定保健指導終了率(積極的支援)		65%	62.10%	H30 62.1% H31 82.0% R02 47.2% R03 -	C
特定保健指導脱落率(動機づけ支援)	新設	前年より減少	6.80%	H30 6.8% H31 7.0% R02 2.4% R03 -	A
特定保健指導脱落率(積極的支援)	新設	前年より減少	9.10%	H30 9.1% H31 8.0% R02 8.3% R03 -	B
新規透折導入患者数	新設	前年より減少	0名	H30 0名 H31 5名 R02 7名 R03 2名	E

C

特定保健指導実施率は高い実施率を維持しており引き続き事業を継続していく。

③ 糖尿病重症化予防（慢性腎不全対策）	◆循環器精密検査未受診者への受診勧奨						A	・コロナ禍により対面での事業が困難であることや、マンパワーが不足により一部事業の継続が困難となり中止、縮小の状況が続いている。マンパワーの回復が見通せない中、まずは非対面の事業が継続できるよう取り組む。
	勧奨通知、架電方法	新設	課内で検討、架電担当者間で意思統一を図る	できた	H30 できた H31 できた R02 できた	A		
	対象者の抽出	新設	診結果通知送付後に自発的に受診した人を把握し適切に除外できた	できた	H30 できた H31 できた R02 できた	A		
	通知・架電率（通知数+架電数）/対象者数	新設	100%	100%	H30 100% H31 100% R02 100%	A		
	受診率	新設	75%	69.9	H30 69.90% H31 70.20% R02 77.70%	A		
	◆CKD（慢性腎臓病）予防教室（H31～）						C	
	予算措置、人員体制の状況	新設	実施に必要な予算の措置、人員体制の整備ができたか	できた	H31 できた R02 できなかった R03 できなかった	C		
	対象者の抽出基準	新設	明確化できたか	できた	H31 できた R02 できた R03 できた	A		
	通知数	新設	対象者全員に通知	61名（全員）	H31 61名（全員） R02 - R03 -	A		
	第1回参加者率（講和）	新設	設定せず	15%	H31 16% R02 - R03 -	A		
	第2回参加者率（食事）	新設	設定せず	15%	H31 16% R02 - R03 -	A		
	第3回参加者率（運動）	新設	設定せず	15%	H31 13% R02 - R03 -	B		
	第1回アンケート調査結果 CKDという言葉の意味の理解度 「理解できた」と回答した人の割合	新設	80%	80%	H31 80% R02 - R03 -	A		
	第2回アンケート調査結果 運動の必要性の理解度 「理解できた」と回答した人の割合	新設	80%	100%	H31 100% R02 - R03 -	A		
	第3回アンケート調査結果 栄養目標の実践度 「できそう（実践中）」と回答した人の割合	新設	50%	50%	H31 50% R02 - R03 -	A		
	◆腎機能低下予防フォローアップ事業						C	
	予算措置、人員体制の状況	新設	実施に必要な予算の措置、人員体制の整備ができたか	できた	H30 できた H31 できた R02 できなかった R03 できなかった	C		
	対象者の抽出基準	新設	明確化できたか	できた	H30 できた H31 できた R02 - R03 -	A		
	説明会夜間利用者の人数	新設	2名以上	2名	H30 2名 H31 2名 R02 - R03 -	A		
	対象者のうち事業の同意を得られた人数	新設	設定せず	30名	H30 30名 H31 15名 R02 - R03 -	B		
実施率	新設	80%	83.33%	H30 83.33% H31 80.00% R02 - R03 -	A			

◆糖尿病性腎症重症化予防事業(R2～)						C	
予算措置、人員体制の状況	新設	実施に必要な予算の措置、人員体制の整備ができたか	できた	R02 できた R03 できなかった	C		
対象者の抽出基準	新設	明確化できたか	できた	R02 できた R03 できた	A		
対象者のうち事業の同意を得られた人数	新設	設定せず	1名	R02 1名 R03 -	A		
指導率	新設	80%	100%	R02 100% R03 -	A		
◆啓発(広報誌、リーフレット)						A	
予算措置、人員体制の状況	新設	実施に必要な予算の措置、人員体制の整備ができたか	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A		
周知方法の検討	新設	住民に広く周知するための媒体(広報みのぶ)リーフレットの送付(R2開始)	広報のみ実施	H30 できた(広報のみ) H31 できた(広報のみ) R02 できた R03 できなかった	A		
広報誌等への掲載回数	新設	年間掲載回数1回	1回	H30 1回 H31 1回 R02 1回 R03 1回	A		
リーフレットの送付(R2から)	新設	送付を行ったか	できた	R02 できた R03 できた	A		
④ 精神疾患新規長期入院者を増やさない	医療機関への訪問と情報共有・連携体制	新設	体制が整備されていたか	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A	現状の取り組みを維持していく。
	医療機関へ訪問	新設	保健所と連携して訪問を行ったか	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A	
	精神保健担当者会議の開催回数	新設	2回	6回	H30 6回 H31 6回 R02 5回 R03 3回	A	
	訪問先病院の抽出基準	新設	明確化できたか	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A	
	訪問先病院数	新設	設定せず	4件	H30 4件 H31 4件 R02 2件 R03 2件	E	
	6ヶ月以上入院の推移(年度間の平均人数)	新設	現状維持	13名	H30 13名 H31 12名 R02 13名 R03 12名	A	
⑤ 成人期の歯周疾患(病)検診を実施	通知内容	新設	町民課、福祉保健課で検討したか	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A	受診率は上昇傾向であり、R2はコロナ禍の影響を受けながら前年度とほぼ同程度の水準を維持していることから、現状の取り組みを維持していく。
	抽出基準	新設	抽出基準は明確化したか	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A	
	口腔機能の改善への啓発	新設	通知対象者にリーフレット等を同封する	できた	H30 できた H31 できた R02 できた R03 できた	A	
	受診率	新設	10%	7.41%	H30 7.41% H31 10.14% R02 9.68% R03	B	
	歯科医療費の推移(一人当たり医療費)	新設	減少	1,626円	H30 1,626円 H31 1,731円 R02 1,714円 R03 1,827円	E	
	咀嚼:なんでも噛める人の割合	新設	86%	86%	H30 86% H31 84% R02 85% R03 85%	C	

⑥ 運動を始めるきっかけづくりの推進	予算措置、人員体制の状況	新設	実施に必要な予算の措置、人員体制の整備ができたか	できた	H30 できた	A	A	各種教室については、コロナ禍を受けてすべて中止となっているため、非対面で行える健診結果の返信時に運動のリーフレットを同封し、運動づくりの普及啓発を行っていく。
	周知方法	新設	町内にチラシを掲示のふまつりにてチラシを配布	適切だった	H30 適切だった	A		
	会場の設定は適切だったか	新設	旧町単位で会場を設定する(3会場)	できた	H30 できた	A		
	教室の参加者数	新設	30名	40名	H30 40名	A		
	アンケート調査結果「今回の教室の内容は、今後自分でも実践できそうですか？」に「出来そう」と回答した人の割合	新設	70%	75.00%	H30 75.00%	A		
⑦ 後発医薬品の使用促進	後発医薬品使用状況の分析を実施できる体制だったか	新設	分析を行い広報誌等へ反映させることができる体制だったか	いいえ	H30 いいえ H31 いいえ R02 いいえ R03 いいえ	C	B	本町の使用状況の分析を行った上で広報等で周知を行う。 【参考】 R4年6月広報に、 ・町の使用割合を県と比較して高いこと ・5歳～10歳の使用割合が県平均より下回っていること などを掲載し活用を求める周知をした。
	広報誌等への掲載	新設	年間掲載回数1回	1回	H30 1回 H31 1回 R02 1回 R03 1回	A		
	差額通知の通知数	新設	設定せず	342件	H30 342件 H31 317件 R02 322件 R03 444件	A		
	ジェネリック医薬品使用率	新設	80%	82%	H30 82% H31 79% R02 71% R03 70%	C		

※判定区分について

(1) 指標判定・データヘルス計画全体の目標に対する判定

- A すでに目標を達成 B 目標は達成できていないが、達成の可能性が高い C 目標の達成は難しいが、ある程度の効果はある
D 目標の達成は困難で、効果があるとは言えない E 評価困難

(2) 事業評価・各対策の評価

- A 計画通りにしている B まあまあ、計画通りにしている C あまり計画通りにしていない D まったく計画通りにしていない E 評価困難